

挑愛～伝統と絆を未来へ～

校長 香山 真一

同窓会会員の皆様におかれましては、ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より本校の教育活動に多大なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

今年には創学348年、2年後には350年を迎えます。350年記念事業実行委員会では2020年に開催する記念式典等の構想を練り始めているところですが、この行事をイベントに終わらせることなく、新ビジョンを発表して次の世紀を展望する機会にしたいと思っております。

昨年度は、韓国の昌原龍湖（チャンウォンヨンホ）高校と沃川（オクチョン）高校、台湾の屏東（ピントン）女子高級中學と姉妹校協定を結び、異文化交流の機会を増やしました。2月に実施した屏東女子高級中學との交流では、高校1・2年の全てのクラスで英語によるプレゼンに挑戦しました。

また、1月には経産省と文科省の合同による「キャリア教育連携推進表彰」で最優秀賞を受賞し、和気町の町長や商工会長、教育長とともに表彰式に臨むことができました。地域の課題を発見し探究する「閑谷學」の時間を中心にした、地域と連携したキャリア教育のカリキュラムが全国的なモデルとして評価されたものです。

今年度になって全校生徒で考案したスローガンが「挑愛～伝統と絆を未来へ～」です。一人ひとりが



りが自分の可能性に挑戦するとともに、団結や絆、恕の心を未来へとつないでいこうというものです。

7月に起こった西日本豪雨災害では、和気町塩田の生徒4名と岡山市東区平島や南古都の生徒7名が床上浸水で被災しました。直ぐに駆けつけることができないもどかしさの中、終業式翌日の20日に災害復旧支援ボランティアを募集したところ、98名の生徒と12名の教職員が、予定されていた補講等に替えて有志で参加してくれました。恕の心の発現でした。

授業の改善も一足ひとあし進んでおります。学ぶ値打ちのある学習課題を中心にすえた授業単元を実践し、12月には本校のWebページにアップロードする予定です。野球部が西大寺高校を破り、昨年が続いて県予選の1回戦を突破したのも嬉しいニュースでした。

会員の皆様の一層のお力添え、ご支援をお願い申し上げますとともに、同窓会のさらなるご発展と皆様のご健勝を切にお祈りして、ご挨拶といたします。



上道公民館周辺の災害復旧支援ボランティア

学校の近況報告

グローバル&ICT! 「最も古く、最も新しい」和気高の学び

教頭 上野 修嗣

○海外姉妹校等との交流

昨年度の会報でもお知らせしましたが、本校は現在、中国・韓国・台湾の計5校と姉妹校協定を結んでいます。それらの学校との間で、実際に交流活動を行っているところが、本校の大きな特徴となっています。昨年後半から今年前半にかけての姉妹校との交流をご紹介します。

韓国の2校（昌原龍湖（チャンウォンヨンホ）

高校、沃川（オクチョン）高校）とは、生徒の相互訪問を行っています。昌原龍湖高校との間では、同校生徒が、昨年夏の「イングリッシュキャンプ」（和気町と本校共催）にスタッフとして参加したり、今年10月に、本校2年次生20名が修学旅行で訪問を予定したりして交流を行っています。

沃川高校との間では、昨年12月に本校生徒が訪問し、同校の寄宿舎に宿泊して交流を深めました。本年9月の楷楓祭（文化の部）に同校生徒10名が参加し、本校生徒の自宅でホームステイを行います。また、現在の1年次生は、来年の修学旅行で沃川高校を訪問する予定です。

台湾の学校へ和気町が訪日修学旅行を誘致する活動がきっかけとなって、姉妹校縁組を結んだ台湾屏東（ピントン）女子高級中學との間では、今